

## 重要課題 2

# 社会・生活インフラとして、 活力ある地域社会の発展への貢献

地域社会の一員として、店舗が地域コミュニティと密接にかかわりを持つことを通して、子どもから高齢者まで、安心して暮らせるより良い地域づくりに貢献します。また、地域行政の補完的な機能を担い、平時・有事を問わず、地域にとってなくてはならない存在であり続けます。



ファミリーマート  
自治体との「包括連携協定」  
締結数

45 道府県 6 市



ファミリーマート  
駆け込み保護  
(女性・子ども・高齢者)

7,135 件以上



ユニー  
認知症サポーター数

約 4,000 人



## 地域社会の発展・活性化

### 地域の集いの場

#### ファミリーマート



地域の集いの場として活用されるイートインスペース

店舗内に設置したイートインスペースは、地域のつながりを深める拠点としても活用されています。購入した商品を飲食するだけでなく、オフィス立地では仕事の合間の憩いの場として、住宅街やロードサイドなどはご家族や友人との会話を楽しむコミュニティスペースとして、また地元の NPO やサークル等のイベント場所としても活用いただいています。イートインの設置店舗は全国約 6,014 店舗 (2017 年 10 月末時点) に拡大しています。

### 棚田の再生で地域活性化に貢献

山梨県との「包括的連携に関する協定」の締結を機に、2011 年度より山梨県甲府市上帯那地域で耕作放棄地の再生をお手伝いしています。甲府市帯那地域活性化推進協議会と「企業の農園づくり推進事業に関する包括協定」を締結し、地域の皆さんと協力しながら米作りなどの農作業を行い、棚田の再生を通して地域の活性化に取り組んでいます。



稲刈りを行う社員

#### ユニー

年齢や性別、障がいの有無にかかわらず、すべてのお客様に安心して快適なお買い物を楽しんでいただくため、ユニーではノーマライゼーションの発想のもとユニバーサルデザインを積極的に取り入れ、地域の方々が集うコミュニケーションスペースを目指した店舗づくりを推進しています。

車いすの方や目の不自由な方、ベビーカーを使用している方、その他お手伝いが必要なお客様にも快適なお買い物を

楽しんでいただくために、段差のない入り口や優先エレベーターや「おもいやり駐車場」を設置。また、小さな子ども連れのお客様への配慮として、ソフトな素材を使用した遊び場や、安心して授乳やおむつ替えができる「ベビー休憩室 (赤ちゃんルーム)」、そしてトイレトレーニングにも役立つ子ども専用トイレ設備の設置も行っています。



おもいやり駐車場



ベビー休憩室



子ども専用トイレ

### 大垣市「レジ袋 市民の森」活動

アクアウォーク大垣 (岐阜県大垣市) には、大垣市環境市民会議と共同で作り上げ、環境省主催「みどり香るまちづくり」コンテストで環境大臣賞を受賞した「レジ袋市民の森」があります。緑が香る公園として店舗の隣接地が再整備され、木や花を管理する市民ボランティア「グリーンサポーター」の活躍により、地域に愛されるコミュニティスペースとして活用されています。



グリーンサポーターの方々

# 地域社会の発展・活性化

## 高齢者の安心を支える取り組み

ユニー・ファミリーマートグループでは、地域の高齢者が安心して暮らせる社会づくりに取り組んでいます。

### 認知症サポーター

#### ファミリーマート

高齢者が住み慣れた地域で安心して生き生きと暮らしていける社会を目指し、各自治体や一般社団法人日本フランチャイズチェーン協会、また各地の店長集会などで開催する「認知症サポーター養成講座」を、各店舗の店長やストアスタッフ、本部社員が受講しています。認知症の方とその家族に協力、サポートできる体制づくりに努めることで、地域の一員として高齢者を見守っていきます。



長野県での「認知症サポーター養成講座」参加者

#### ユニー

認知症のお客様に安心して買い物を楽しんでいただくために、ユニー独自の基準による「認知症買い物セーフティネット店舗」の認証を進めています。認証を受けた店舗には、認知症サポーターとして NPO から教育を受けた店長や従業員がおり、声かけや見守りの役割を担っています。これまでに 58 店舗が認知症サポーター教育を受講しており、サポーター数は約 4,000 人となっています。



認知症サポーターバッジをつけたユニー従業員



認知症サポーターの表示 (店舗入口)

## 高齢者の「運転免許自主返納支援制度」への協力

#### ファミリーマート

高齢運転者による交通事故が増加している中、高齢者の「運転免許自主返納支援制度」に協力しています。香川県、愛媛県、高知県では、65 歳以上の免許返納者にファミリーマート・サークル K・サンクスなどで使える「QUO カード」、東京都ではグループ会社のシニアライフクリエイトが提供するお弁当宅配サービス「宅配クック 123」の利用券を贈呈しています。



宅配クック 123

### 高齢者向けサービス

#### ファミリーマート

「宅配クック 123」では、栄養バランスに配慮し、毎日異なる献立で工夫を凝らしたお食事をお届けしています。普通食のほか、塩分調整食や透析食、やわらか食など、お客様の健康状態とニーズに応じたさまざまなお弁当を各種ご用意しています。お届けする際にお体の調子などを伺う「安否確認」も行っており、高齢者の見守り役を担うことで安心して暮らせる地域づくりに貢献しています。



お弁当のお届け

#### ユニー

お買い物が困難なお客様や時間がないお客様のために、「ネットスーパー」を提供しています。インターネットだけでなく、電話や FAX でのご注文も受け付けており、ネット環境がないお客様や、パソコン・スマートフォンを使い慣れていないお客様でも手軽にサービスを利用できます。また、商品の配達時に、お客様の使用済みの容器包装を回収するリサイクルの推進活動も同時に行っており、生活利便性や買い物弱者支援への貢献といった社会課題の解決とともに、環境への配慮としても取り組んでいます。

### シニア加盟制度

#### ファミリーマート

61 歳～70 歳までのシニアにファミリーマートの店舗を経営していただけるように、2016 年 2 月から「シニア加盟制度」を開始しました。契約期間は 5 年間となるため、最長 75 歳まで店舗経営が可能となります。シニア層が持つ知識や技術、働く意欲を活かしていただくことで、やりがいと健康増進に貢献する取り組みです。



シニア加盟制度 ポスター

### セーフティステーション活動

#### ファミリーマート

一般社団法人日本フランチャイズチェーン協会の一員として、地域の安全を守る「セーフティステーション活動」に取り組んでいます。全国のコンビニエンスストアによる活動で、地域の皆さん・自治体・国と連携しながら、高齢者や身体障がい者の方への買い物のお手伝いや連絡をはじめ、青少年環境の健全化にも取り組んでいます。日頃からの防犯や防災、安全への対策はもとより、徘徊高齢者や女性・子どもなどの駆け込み対応とともに、未成年者へのたばこ・酒類の販売禁止の徹底と、深夜時間帯での帰宅促しなどにも積極的に実施し、地域に密着した店舗運営を行っています。



セーフティステーション ポスター

# 災害対策・被災地支援

## 安全・安心なまちづくり

### ファミリーマート

#### 自治体との連携（包括協定・災害協定・見守り協定の締結）

安全・安心なまちづくりを推進するため、各都道府県（一部を除く）や市区町村等と、それぞれ「包括協定」や「災害時物資支援協定」「帰宅困難者の支援に関する協定」「（高齢者などの）見守り協定」などを締結し、緊急時の社会・生活インフラとしての役割を果たしています。

ファミリーマートと自治体の協定	締結数	内容
包括協定	45 道府県 6 市	地域社会の重要なライフラインの一つとして、子育て・高齢者支援、観光、振興、環境活動などの多項目にわたり連携。
災害時の物資供給に関する協定	46 道府県 28 市区 13 団体	災害発生時において、各自治体などの要請に基づき供給可能な緊急支援物資を調達、提供。
災害時における帰宅困難者支援に関する協定	41 都道府県 10 市	災害時に、徒歩で帰宅する皆様にトイレの貸し出しや水道水の提供、ラジオなどでの災害情報を提供。
高齢者見守り連携事業に関する協定	5 都府市町村	認知症徘徊行動などによる行方不明高齢者などの早期発見、保護への協力、何らかの異変を発見した時には速やかに連絡など、地域の高齢者などの弱者が犯罪や事故に遭うことなく安全に安心して暮らすための活動を行う。

## 災害時における社会・生活インフラとしての役割

### ファミリーマート

#### ユニー

ユニーとファミリーマートの両社は、災害対策基本法第二条第五号に基づき、内閣総理大臣から「指定公共機関」に指定されています。「指定公共機関」は、防災業務計画の策定をはじめ、災害予防・応急対策・復旧等において重要な役割を果たしています。

災害の発生時には、ファミリーマートが日本全国に持つ物流網を活かして組織的な輸送力や緊急支援物資の提供を行うほか、

ユニーの一部大型店舗では、非常時に炊き出しに利用できる「かまどベンチ」や、便器を収納して非常時にはトイレとして利用できるスツールなどを設置しており、地域住民の避難拠点としての役割を果たすことが可能です。また、災害からの復旧段階においても、いち早く通常営業を再開できるような体制を整えており、グループ一体となって大規模災害に備えています。



被災直後の店頭営業



かまどベンチ（ユニー）



災害用トイレ（ユニー）

## 災害義援金（平成 29 年九州北部豪雨災害義援金）

2017 年の 7 月 5 日から 6 日にかけて発生した記録的な豪雨は、九州北部に甚大な被害をもたらしました。ユニー・ファミリーマートホールディングスでは、被災地の一日も早い復旧と復興を支援するため、7 月 8 日から全国ファミリーマート・サークルK・サンクスおよびユニー各店舗等の店頭において義援金の受付を開始しました。

各店からは、約 2 週間の受付期間で募金総額 41,383,739 円が集まり、8 月 18 日付で福岡県に 33,106,991 円、大分県に 8,276,748 円の寄託を行いました。



福岡県 小川知事（左）へ目録をお渡しする、(株)ファミリーマート九州第2ディストリクト 小川統括部長（右）



大分県 企画振興部 廣瀬部長（左）へ目録をお渡しする、(株)ファミリーマート九州第1ディストリクト 草場統括部長（右）

### ファミリーマート

## 日本初の民間主導による緊急災害対応アライアンス「SEMA」に参加

2017 年 8 月、災害支援を実施している民間企業 17 社および NPO6 団体にて、日本国内での大規模自然災害発生時に、民間企業と NPO の連携により企業が持つ物資・サービス等の支援をワンストップで提供する、緊急災害対応アライアンス「SEMA（シーマ）」を設立いたしました。平時から加盟企業・団体が持つ物資・サービス等をリストとして集約し、災害発生時にはリストをもとに各社が行う支援をパッケージ化して迅速に被災地にお届けします。また、公共機関との円滑な連携を図り、被災自治体の負担の削減を目指します。ファミリーマートは、全国の店舗をつなぐ物流・情報ネットワークなどを活用し、被災地支援を積極的に行うことで、「社会・生活インフラ」としての責務を果たしてまいります。

### SEMA の概略図



### 地域の見守り、詐欺防止の表彰事例

2017 年 10 月 17 日、高齢者を狙ったプリペイドカードの購入詐欺未遂が発生しました。兵庫県ファミリーマート東浦久留麻店での接客時に、不審に思ったスタッフの機転で被害を未然に防いだことから、後日、淡路警察署より感謝状を贈呈されました。ファミリーマートでは、これからも店舗運営を通じて地域社会の安全・安心を支えていきます。



表彰状を受け取るファミリーマート東浦久留麻店

### ユニー

店舗での防災訓練を実施するとともに、NPO 法人レスキューストックヤードが主催する体験イベント「あそぼうさい」を店舗で開催し、自然災害に備えて自分の命を守る行動を学ぶことで、地元自治体や市民ボランティアと協力しながら、地域一体となった災害対策に取り組んでいます。



あそぼうさい（ヒルズウォーク徳重）



電気が来ない…自分でつくろう



炊き出し訓練（リーフウォーク稲沢）

## 次世代の健全な育成

未来を担う子どもたちの育成を支援するため、各地の店舗や社員などが参加しながら地域社会と協働で取り組み、この先も将来へと受け継がれるより良い社会づくりに貢献します。

### 「ありがとうの手紙コンテスト」

#### ファミリーマート

ファミリーマートでは、次世代を担う子どもたちのために、全国に展開する店舗や従業員が地域社会と協力しながら地域の活力・つながりを高める取り組みを行っています。その一つが「ありがとうの手紙コンテスト」です。全国の小学生を対象に、さまざまな感謝の気持ちを文字や言葉で伝えることの大切さを学んでほしい、という思いを込めて2009年より主催し、全国連合小学校長会や全国市町村教育委員会連合会などの後援を受けて実施しています。

これまでの全9回を通じた応募総数は約29万通にのぼり、応募作品が道徳の教科書（2018年度）に掲載されるなど学



校教育にも活用されています。最優秀作品賞は受賞者が通う小学校に社員が赴いて表彰式を行うほか、受賞作品が全国の店舗でポスターや店内放送で紹介されます。店舗では、近隣の学校への積極的な応募の呼びかけを行い、店舗内に作品を展示するなど、地域での子どもたちの活躍を生み、紹介する場としても貢献しています。



最優秀作品  
(2016年度 中国・四国ブロック 低学年の部)



受賞児童に表彰状をお渡しする、  
中国ディストリクト加計統括部長（当時）



過年度受賞作品が掲載される  
「道徳」の教科書

### ベルマーク運動

#### ファミリーマート

「すべての子どもに等しく、豊かな環境のなかで教育を受けさせたい」というベルマーク運動の願いに賛同・協賛し、コンビニエンスストアとして初めて、そして唯一「ベルマーク」の付いたおむすびを販売しています。各店舗にはベルマーク回収BOXを設置しており、集まったベルマークは近隣の小学校に寄贈するほか、本社や食品製造委託工場などで集められたベルマークと合わせて、東日本大震災や熊本地震などで被害を受けた小学校にも寄贈しています。

寄贈されたベルマークは、各学校で教育備品などの購入に活用され、教育環境の充実に役立てられています。



店頭のおむすび売場とベルマーク回収BOX

#### ユニー

東日本大震災の翌年2012年から、お客様とユニーの社員が協力し合いながら店頭や本社でベルマークを収集し、被災地の子どもたちに文房具を贈る取り組みを行っています。2016年度では65万点が集まり、被災地に寄贈しました。

### 店舗における食育への取り組み

#### ユニー

子どもたちの「食」への興味・関心を育て、その楽しさを発見・実感するきっかけになるよう、「おいしく」「たのしく」をモットーに、食育活動に取り組んでいます。

店舗では、オリジナルポーク「悠健豚」使用の親子料理教室や、

おいしく手軽で健康に良いメニューを毎日提案する「365キッチン」のほか、学生や企業、生産者と協力した食育活動を実施しています。

#### ◆ユニーの食育理念

私たちは、食と食に関する情報の提供を通して、食の大切さや楽しさを地域のお客様と共有化します。

#### ◆ユニーの食育方針

- 1 新鮮かつおいしい食材を提供することにより味覚を養います。
- 2 食材の持つ栄養素とその働きを理解することにより体を養います。
- 3 食材のルーツをたどることにより食べ物を大切にすることを養います。
- 4 食材本来の味や特性を活かした調理や料理ができる技を培います。
- 5 合理的な手法を用いた商品選択により安全・安心な食材提供に努めます。

#### ◆「悠健豚」食育イベント

アピタ、ピアゴのオリジナルポーク「悠健豚」を使って親子料理教室を実施しています。イベントにはバイヤーも参加し、イベントを通してユニーのプライベートブランド、オリジナル商品へのこだわり、安全・安心への取り組みなどを紹介しています。

#### ◆365キッチン

お客様の「食」に関する悩みを解消するために、おいしくて、手軽で、健康に良いメニューを、毎日提案しています。素材について、調理について、栄養について、食のことなら何でもスタッフにご相談ください。

#### ◆生産者との食育への取り組み

お客様が農作物の栽培から収穫までを生産者と触れ合いながら体験することは、売り場の野菜や果物を身近に感じていただくための、大切な食育と考えています。



「悠健豚」食育イベント



お客様と生産者の触れ合い

### 募金活動の取り組み

#### ユニー

店頭「愛の1円玉募金箱」を設置し、店舗のある地域の社会福祉協議会などに継続的に寄付しているほか、店頭での呼びかけ活動を通じて、世界の難民の方々や発展途上国の子どもたちへの募金活動を定期的に行っています。また、食品を扱う企業としての立場から、十分な食料と栄養が不足している子どもたちを支援するため、社員食堂ではワンコイン募金活動を行い国連WFP協会に寄付を行っています。



愛の1円玉募金



社員食堂のワンコイン募金

# NGO/NPO との協働と地域社会との共生

## 夢の掛け橋募金を通じて NGO/NPO の活動を支援

### ファミリーマート

「ファミリーマート夢の掛け橋募金」の名称は、「お客様と社会的な活動を行う NGO/NPO との「掛け橋」としての役割を担う」ことから名付けられました。お預かりした募金額に加えて、ファミリーマートからの企業寄付（マッチングギフト※）とあわせて各団体に寄付しています。また、大規模災害

発生時には、これらの募金は「災害義援金募金」に切り替え、被災地の支援に充てられます。1993年に、コンビニエンスストアとして初めて店頭で募金箱を設置して以来、これまでに総額 54 億 2,004 万 1,391 円を集め、店舗を募金拠点として地域での社会貢献に取り組んでいます。



※マッチングギフト…募金総額に対して、企業などが一定率を掛けた金額を上乗せして寄付すること。

## 日本・米国の将来世代の掛け橋として

公益財団法人米日カウンシルージャパン「TOMODACHIイニシアチブ」への寄付を通して、東日本大震災で被災した福島県的女子高校生を対象に、世界で通用する国際的視点を備えた人を育成するプログラムを支援しています。



女性社員 3 名がプログラムに参加

## ファミリーマートとセーブ・ザ・チルドレン・ジャパンの協働事業

2013年に公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンと「グローバルパートナーシッププログラム契約」を締結しました。子ども防災・減災事業に使用を限定した「ファミリーマートグローバル子ども募金」を活用し、ファミリーマートが展開しているタイ・ベトナム・インドネシアなどの国・地域で、セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンと協働で子どもの防災・減災のための事業に取り組んでいます。



水難事故防止のための水泳教室 (タイ)



災害に備えた消火訓練 (インドネシア)

## 国連 WFP コーポレートプログラムパートナーとして

2006年から世界の飢餓撲滅に取り組む活動に賛同し、国連 WFP 協会を支援しています。また、ファミリーマートは国連 WFP コーポレートプログラムのパートナーとして参加し、WFP と両輪となり協働で社会における公的役割を果たしています。



2016年からはミャンマー連邦共和国の学校給食プログラムに使用を指定し「ファミリーマート夢の掛け橋募金」の一部を寄付しています。

## ミャンマー学校給食プログラム

ミャンマーは経済発展が不十分なため、国の約 15% の人口は栄養不足で、5 歳未満の子どもたちの 35% が発育障害であると言われています。ファミリーマートは「ミャンマー連邦共和国・学校給食プログラム」を支援し、未就学児と小学校の児童に、毎日 75g の栄養強化ビスケットを支給することで、栄養と教育の改善支援活動を進めています。



栄養強化ビスケットの支給 (ミャンマー)

事業名	ミャンマー連邦共和国・学校給食プログラム
用途	未就学児と小学校の児童に 75g の栄養強化ビスケット支給
2016 年度実績	1,830,479 人分の学校給食を提供

## 地域の NGO/NPO とのコラボレーション活動

### ユニー

地域社会の頼りになる「コミュニケーションセンター」を目指し、地域の皆様や NPO、企業ボランティアと協力し、社会貢献、地域貢献活動を行っています。

ユニーの店舗では、「特定非営利活動法人 アジア車いす交流センター (WAFC)」と、あいおいニッセイ同和損保が共同で行う障がい者支援イベントを開催し、車いすの普及活動を通じた障がい者の自立支援に協力しました。また、世界各国に医療ボランティアを派遣して人道支援に取り組む国際 NGO 「世界の医療団」のスマイル作戦キャンペーンに賛同し、24 店舗でイベントを行いました。このスマイル作戦キャンペーンでは、社員 641 名が参加し、先天性の病気やけが、戦争で受けた傷などに苦しむ発展途上国の子どもたちにメッセージを贈るとともに、お客様からの寄付金 140 万円を募りました。



WAFC 車いす支援活動

この他、UNHCR (国連難民高等弁務官事務所) 支援として募金活動に賛同し、10 店舗で 183 名の方から 472 万円の寄付振り込みの手続きに協力しました。

## 衣料回収を通じた社会貢献

ユニーは NPO や地元企業のボランティアと、お客様の家庭で不要になった衣料品を回収しています。回収した衣料品は NPO 法人日本救援衣料センター、日本通運を通じて、アジア・アフリカ・南米に送っています。

また、店舗ではお客様の家庭で不要になった衣料品を回収し、

自動車の内装材としてリサイクルしています。衣料品をお持ちいただいたお客様には割引券として使用できる「エコとくお買い物券」を差し上げており、1 枚の使用で割引金額の 1% をユニーから被災地支援や緑化活動に寄付しています。2016 年度は 157 万円を寄付いたしました。